

英語の文章を理解する力をつけるために

— 文献案内 —

(第14版)

2022年10月7日

木村 邦博

「国際化」「国際交流」という言葉が広まっているだけでその内実については疑問視される今こそ、英語（より一般的に言えば「第一言語でない言語」）で書かれた文章を理解する力を身につけよう。そのための勉強は、さらに、英語（外国語／「第一言語でない言語」）で文章を書いたり（単にあいさつ程度の日常会話をするだけでなく）論理的な議論をしたりするのも役立つことだろう。（英語の文章の書き方などについては別の機会にアドバイスしたい。）

1. 入門：英語の発想とその学び方

市川伸一.(2000).『勉強法が変わる本—心理学からのアドバイス—』岩波書店（岩波ジュニア新書）.

野口悠紀雄.([1995] 2000).『「超」勉強法』講談社（講談社文庫）.

ピーターセン, マーク.(1988).『日本人の英語』岩波書店（岩波新書）.

ピーターセン, マーク.(1990).『続日本人の英語』岩波書店（岩波新書）.

ピーターセン, マーク.(2003).『英語の壁—The English Barrier—』文藝春秋(文春新書).

ピーターセン, マーク.(2010).『日本人が誤解する英語』光文社(知恵の森文庫).

酒井邦秀.(1996).『どうして英語が使えない—「学校英語」につける薬—』筑摩書房（ちくま学芸文庫）.

菅原克也.(2011).『英語と日本語のあいだ』講談社（現代新書）.

鈴木 健.(2006).「クリティカルに読み解く」『クリティカル・シンキングと教育—日本の教育を再構築する—』鈴木 健・大井恭子・竹前文夫編 世界思想社 66-99頁.

天満美智子.(1994).『新しい英文読解法』岩波書店（岩波ジュニア新書）.

* 何よりもまず、「日英単語一対一対応主義」からの脱却を！ 以上の本のいずれかを読めば、その重要性が理解できるだろう。

* 市川（2000）と天満（1994）は高校生向けに書かれた本なので、読んだことがある人もいるかもしれない。未読の人はぜひすぐに一読を。

- * 鈴木 (2006) は、クリティカル・シンキングを応用して英語を読み解く方法として、「スラッシュ・リーディング」や「サイト・トランスレーション」などを薦めている点に特徴がある。
- * 市川 (2000) と野口 ([1995] 2000) は、英語の勉強だけでなく、何かを「学ぶこと」「理解すること」はどのようなことか、考える上でも示唆に富んでいる。

2. 翻訳家の仕事に学ぶ

- 安西徹雄. (1983). 『英語の発想—翻訳の現場から—』 講談社 (講談社現代新書).
- 安西徹雄. (1995). 『英文翻訳術』 筑摩書房 (ちくま学芸文庫).
- 別宮貞徳. (1985). 『翻訳と批評』 講談社 (講談社学術文庫).
- 別宮貞徳. (1996). 『特選 誤訳 迷訳 欠陥翻訳』 筑摩書房 (ちくま学芸文庫).
- 別宮貞徳. (2006). 『実践翻訳の技術—さらば学校英語—』 筑摩書房 (ちくま学芸文庫).
- 深町眞理子. ([1999] 2001). 『翻訳者の仕事部屋』 [飛鳥新社] 筑摩書房 (ちくま文庫).
- 河野一郎. (1999). 『翻訳のおきて』 DHC.
- 柴田耕太郎. (1997). 『英文翻訳テクニック』 筑摩書房 (ちくま新書).
- 鈴木主税. ([1995] 2000). 『私の翻訳談義—日本語と英語のはざままで—』 [河出書房新社] 朝日新聞社 (朝日文庫).

- * 情報収集 (あるいは雑学) の重要性を知ってほしい。
- * プロの仕事を見て、辞書の使い方や訳し方の工夫などを盗もう。
- * 英語を理解しその内容を日本語で伝えようとするとき、日本語のスキルも高くなければならないことを実感してほしい。

3. 辞典に親しむ

- * 「速読」できるようにするには、辞典 (辞書) に頼りすぎず、わからない単語やフレーズがあってもその意味を「あて推量」しながらとにかく最後まで読んでみる、という練習が有効である。しかし、そのあとで、辞典 (辞書) にあたって確認をとることも大切である。また、よく知られている単語に「意外」な意味があったりするので、辞書をうまく活用することが必要である (そのような意味が小さな英和辞典に載っていることはあまりないので、要注意)。
- * ここで紹介する辞典のプリント版 (冊子体版) は東北大学附属図書館に所蔵されているので、ぜひ手に取って利用していただければ幸いである。

3.1 英和辞典（大辞典）

小学館ランダムハウス大辞典第二版編集委員会（編）. (1994). 『ランダムハウス英和大辞典』（第2版）小学館.

竹林滋（編者代表）. (2002). 『研究社新英和大辞典』（第6版）研究社.

* 用例が多く収録されている英和大辞典は有用。その中でも代表的なのがこの2つ。見出し語の最初の方にあげられている訳語を当てはめるのではなく（「日英単語一対一対応主義」からの脱却！）、下の方まで（用例も含めて）よく見て訳を考えよう。

* 『ランダムハウス英和大辞典』には CD-ROM 版（名称は「ランダムハウス英語辞典」）もある。とはいえ現在では出版社のカタログに載っていない。CD-ROM という形態にしても対応 OS や音声ファイル形式などにしても、もはや旧式といわざるを得ないのかもしれない。

* 『ランダムハウス英和大辞典』のスマホ用アプリ（有料）もあったけれども、販売終了となっている。

3.2 英英辞典

3.2.1 オンライン版（無料のものに限定して紹介）

Collins English Dictionary

<https://www.collinsdictionary.com/dictionary/english>

Dictionary by Merriam-Webster: America's most-trusted online dictionary (Dictionary and Thesaurus Merriam-Webster; Merriam-Webster Online)

<https://www.merriam-webster.com/>

Oxford English Dictionary (OED)

<https://www.oed.com/>

* Dictionary by Merriam-Webster: America's most-trusted online dictionary (Dictionary and Thesaurus Merriam-Webster; Merriam-Webster Online) は 3.2.2 節で紹介するプリント版の *Webster's Third New International Dictionary* とは別のものである。しかし、用例（実際に最近その言葉が使用された例文も含む）が豊富で、語源に関する情報なども掲載されている。動画などの資料が含まれている場合もあり、学習の助けになる。Web 版のほかに、iOS や Android 用の無料アプリもある。

* Collins English Dictionary のウェブページでは、上部にある検索ボックスに英単語を入力して検索すると、その単語に関する定義を読むことができる。単語見出しのすぐ次の行に表示される辞書名（データベース名）が “Collins COBUILD”

となっているのは、その定義の記述が *Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary* をもとにしたものであることを示す。この辞書は、単語の語義を文の形で表現すること、その単語や語義の使用頻度に関する情報がわかるようなくふうがされていること、その単語がどのような文脈で用いられるかの情報が表示されていること、など、他の英英辞典にない特徴を備えている。*Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary* のプリント版は日本の出版社からも刊行されている（3.2.2 節の『コウビルド英英辞典』）。

* *Oxford English Dictionary (OED)* は上級者向け。しかし、用例の中に行動科学関係の文献からの引用がある項目もあり、その意味でも興味深い。東北大学では附属図書館を通して利用可能になっている。

3.2.2 プリント版

Gove, P. B., and the Merriam-Webster Editorial Staff, eds. (1961). *Webster's Third New International Dictionary*. Springfield, Massachusetts: Merriam-Webster.

Hornby, A. S. (J. Turnbull, Managing Editor). (2020). 『オックスフォード現代英英辞典』(第10版) [*Oxford Advanced Learner's Dictionary (of Current English)*, 10th ed.] Tokyo: Oxford University Press/旺文社.

Simpson, J. A., & Weiner, E. (Eds). (1989). *Oxford English Dictionary*, 2nd ed. Oxford: Oxford University Press. (20 vols.)

Sinclair, J., founding editor-in-chief. (2018). 『コウビルド英英辞典』(改訂第9版) Harper Collins/桐原書店編集部.

* 『オックスフォード現代英英辞典』(*Oxford Advanced Learner's Dictionary*) は、初学者向けで、コンパクトで便利。(木村は高校時代、英語の先生から薦められて使い始めた。今でも改版のたびに買い換えて愛用。)

* 『コウビルド英英辞典』は、*Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary* を、日本の出版社が刊行したものである。(これは、3.2.1 節で紹介したオンライン英英辞典 *Collins English Dictionary* で使用されている辞書である。) 単語の語義を文の形で表現すること、その単語や語義の使用頻度に関する情報がわかるようなくふうがされていること、その単語がどのような文脈で用いられるかの情報が表示されていること、など、他の英英辞典にない特徴を備えている。

* *Webster's Third New International Dictionary* は代表的な大辞典のひとつ。英和辞典でフォローし切れていない意味や用例がのっていることがあるので、確認のため見ておくと良い場合がある。

* *Oxford English Dictionary (OED)* については 3.2.1 節でも紹介した。プリント版には縮刷版、Additions Series (1993-) などもある。

3.3 専門用語の辞典・事典類（英文索引の活用）

*3.1 で挙げた『ランダムハウス英和大辞典』、『研究社新英和大辞典』などにも、行動科学関係の専門用語が掲載されている。しかし、社会学・心理学・経済学・統計学などの事典（辞典）の英文索引で探して本文中の記述を読むと、専門用語の意味がよく理解できるだろう。